

図書館だより

第6号 令和4年3月15日(火)発行

島根県立隠岐高等学校 図書館

貸出冊数 2冊まで

貸出期間 2週間

新刊本がたくさん入りました！

平年並みの寒さと言われた今年の冬。さすがに2月は冷え込みの厳しい日も多く、みなさんの動きも少し緩やかだったように思います。国際情勢も混沌とし、コロナの感染拡大も心配されるところですが、3月に入ると日ごとに春の気配が感じられるようになってきました。春休み！ 普段読めなかった本を改めて開いてみましょう。パワーアップ事業による図書がたくさん入っています



新刊本紹介

◎昨年4月～3月学年別貸出数と、個人別貸出ベスト11

学 年	1 年	2 年	3 年	学 年
貸出冊数	376冊	98冊	206冊	680冊

個人 1位	影山ひまり	(1-1)	58冊	6位	中居 優陽	(3-1)	21冊
2位	池本 颯汰	(1-1)	32冊	8位	奥森 駿	(2-3)	20冊
3位	大峠 心	(1-2)	31冊	9位	山根 賜乃	(1-3)	18冊
4位	木瀬 春香	(2-2)	26冊	9位	田中 優海	(3-1)	18冊
5位	佐藤まつり	(3-1)	24冊	9位	藤田あずみ	(3-1)	18冊
6位	竹森 未唯	(1-1)	21冊				

◎ベストリーディング 令和3年4月から令和4年3月15日まで

- ★1位 (7回) 『優しい死神の飼い方』 知念実希人 著
- ★1位 (7回) 『そしてバトンは渡された』 瀬尾まいこ 著
- ★3位 (6回) 『5秒後に意外な結末 ミノタウロスの青い迷宮』 桃戸ハル 著
- ★4位 (5回) 『唯脳論』 養老孟司 著
- ★4位 (5回) 『神さまの御用人』 浅葉なつ 著
- ★4位 (5回) 『出雲のあやかしホテルに就職します 2』 硝子町玻璃 著
- ★7位 (4回) に『推し、燃ゆ』、『52ヘルツのクジラたち』など13冊の本がありました。



◎こんな本もありますよ！

全集 伝え継ぐ日本の家庭料理 全16巻 企画編集・日本調理科学会

昭和の家庭料理とその食文化を次世代へ継承する。百年後にも作り続けたいふるさとの味、食材の活かし方、完全レシピ化！ テーマ別、料理別、行事別の構成なので、同じ料理や食材の地域ごとの特徴や違いが全国レベルでわかります。

英語名作ライブラリー コンパス・ヤングラーナーズ・クラシックリーダーシリーズ 1~6

コンパス・クラシックリーダーシリーズ 1~6

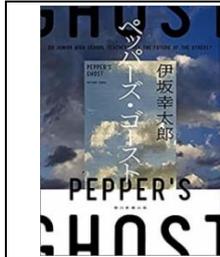
クラシックな童話を英語初心者向けのやさしい英語で、巻末には重要単語リスト、寸劇のスク립トを収録。CDには本文はもちろんのこと、巻末のおまけも朗読した音声入り。全120冊です。

◎新着図書紹介 パワーアップ事業により届いた本です。



『スター』 朝井りょう 著

作家生活10周年記念作品 新時代の“スター”は誰だ。
新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した立原尚吾と大土井紘。
ふたりは大学卒業後、名監督の弟子入りとYouTubeでの発信という真逆の
道を選ぶ。作品の質や価値は何をもって計られるのか。



『ペッパーズ・ゴースト』 伊坂幸太郎 著

小説を読む楽しさ、面白さに道ながらうつむく人に前を向かせてくれる
伊坂小説の決定版！ 中学教師は未来を少し観る。
ある不思議な能力を持つ中学教師の壇。サークルとよばれるグループと
壇先生が交差し、世界は変転を始める。



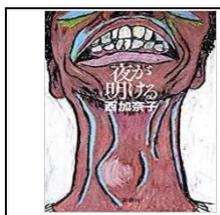
『あの夏の正解』 早見和真 著

2020年、夏の甲子園中止一。選手と指導者は何を思い、どう行動した
のか？ コロナ禍に直面した球児の本音に迫る。パンデミックに翻弄され、
挑戦することさえ許されなかったすべての人に送るノンフィクション！



『同志少女よ敵を撃て』 逢坂冬馬 著

第11回アガサ・クリスティー賞大賞受賞作。独り戦、女性だけの狙撃
小隊がたどる生と死
武勇伝ではない。狙撃兵となった少女何かを喪い何かを得る物語。



『夜が明ける』 西 加奈子 著

2022年本屋大賞ノミネート！ 思春期から33歳になるまでの
男同士の友情と成長、そして変わりゆく日々を生きる軌跡。
まだ光は見えない。それでも僕たちは、夜明けを求めて歩き出す

本の返却をお願いします。

- 図書館の本が手元にありましたら、3月18日までに図書館の返却ボックスか購買前の返却ボックスに入れてください。
- 春休み中の貸出は3月22、23、24日の3日間に行います。

○「大切なことは、どれだけたくさんのかをしたかではなく、どれだけ心をこめたかです。」 【マザーテレサのことば】

○「毎朝目さますたびに、お前はこう言ってもいいだろう。目が見える。耳が聞こえる。体が動く。気分もわるくない。有り難い。人生は美しい。」 【ジュール・ルナールのことば】